

# 広報 吉田町

11月25日

第417号

毎月10日・25日  
福岡県遠賀郡  
水巻町発行



とじて保存しましょう

## イモ掘り

わあ！またあった

秋の陽ざしをポカポカあびながら、第二保育所（吉田団地）でイモ掘りがありました。

これは、園庭の空地を利用して園児にイモ掘りを通じて土に少しでもなじみ収穫の喜びを知ってもらうと、春に保護者のかたにも手伝ってもらって、自分たちの手で苗を植え大切に育っていたものです。

園児たちは、自分で掘るイモに大はしゃぎ。ツルをかきわけて、次から次いでてくる大きなイモに目をクルクルさせていました。

掘ったイモは、さっそく三時のおやつに……残りは「お父さん、お母さん」のお土産となりました

### 町の人 口

10月末現在（ ）は昨年比

人 口	25,811	(+ 478)
男	12,530	(+ 255)
女	13,281	(+ 223)
世 帯 数	7,832	(+ 255)
町の面積	10.82	㎩

昭和五十四年の

成人式の該当者を調査しています

氏名の間違や移動もれの  
かたは教育委員会まで

町教育委員会では、来年一月十五日に行なわれる成人式に該当する新成人の調査を行なっています。新成人に該当するのは昭和三十三年四月二日から昭和三十四年四月一日までに生まれ、たかたか、該当者を十一月一日現在の選挙人名簿によって調査していますが、その後の転入などで、名簿のついでいない人、または氏名に間違いのある人は、教育委員会事務局または居住地区の公民館長に申し出られるようお願いいたします。

立屋敷

入江勝

伊左座

白石京子

武内順子

みずほ

花木修一

枝和代

井原直樹

永井彰

山良美

二

中村一路

船津学

田野雅子

大野政代

二町住

片山喜代美

木本敦子

下二

豊沢洋子

日高みゆき

枝 入江明美

春 岳元武男

下二町住

宮本善樹

大野進

川津信行

川素子

入江興産

末次久子

林住宅

園田裕二

吉田団地

石黒裕子

香月かおる

栗川美子

一 桑山秀人

洋一

山剛

和江

龍典

淳子

真由美

下宮哲美

川原鳴美

衛藤三千代

豊福正

吉田ノ一

榎原撰子

藤野恵美子

足立裕美子

緒方和博

下信一

吉田ノ二

川野幹二

淵川順子

宮津明

惠子

良一

越新一

吉田ノ三

澄出孝市

森島幸二

大隅昭彦

賀雅裕

美和

賀都子

野裕之

向井義隆

向井和則

安藤ひとみ

三

美吉野

明瀬久子

武善広

原文夫

野英次

英夫

石江惠子

鯉口区及び鯉口団地

田中正雄

池田勇人

平林富士雄 満田るみ子 香川公隆 野中真一

頃末

徳原重子

満田次生

田勝哉

崎智恵美

山本恵子

宮原秀彰

富田康弘

坂口政幸

智哲郎

山本宏司

片山裕子

藤真澄

浦晃一

有松千秋

内和宏

岡本泰求

甫敬子

帆

室井直美

末崎千鶴

二社区

長岡良幸

口静江

白木時男

古賀・新生街

荒木利夫

中武英一

内海朋子

押川カズミ

古賀区

内堀高子

篠原啓二

吉岡優子

松岡孝子

吉村公子

山崎豊

梅ノ木団地

戸田和子 梅ノ木区

笈田義彦 山下秀廣 泰下実 嶋

村文男 矢山ちとせ 竹上里美

杉本幸恵 室原修

高松区及び高松団地

水元俊之 伊藤稔 西川義典 渡

辺典子 木藤修 長田浩美 山口

真利 辻野修 佐久間和子 梯富

子 江頭謙造 加久田恵子 山下

美月 小田小夜子 藤本昌幸 木

下敬二 亀崎さとみ 橋本和則

内藤秀代 神谷隆司 京俊光 鈴

木良男 内田多美子 荒巻和徳

阿比留一夫 岩見加代子 大川真

治 中村美子 萩原みどり 藤原

友明 馬瀬トモ子 杉本幸恵 古

川節弥

樋口

柳智明 大場祐二 松永真理江

篠原昌江 塚原一穂 境加奈子

井本智保子 時津三枝子 茨木久

江 太田昌志 三木多賀子 的野

啓二郎 青木博志 上月葉子 土

居博幸 金かおり 皇南京子 具

信子 金弘行 藤井次男 中妻美

智子

猪熊

岡村光哲 足立弘明 内座久美子

釜一政 蒲原靖児 川上真理子

下田裕史 中野幸子 樋口房枝

深水誠司 中山清子 鬼崎智美

吉永祐二 山形千代美 堀京子

今岡論 矢坂恵子 原田陽子 行

徳寿子 富松悦子 三宅順子 片

山浩 三吉良江 山腰雅彦 矢鍋

清美 黒田信和 時盛里美 吉永

祐一

猪熊町住

森下京一 川原美智明 本田秀人

もう一度「部落問題の解決」について考えてみましょう

差別のない

明るい

町づくりを



十二月四日から十日までは、「人権週間」です。

これは、一九四八年十二月十日第三回国際連合総会で、「世界人権宣言」が採択されたのを記念して設けられたもので、本年で三十週年を迎えることになりました。

この記念すべき年にあたり福岡法務局北九州支局及び北九州人権擁護委員協議会においては、

●人権の共存  
―対話によって明るく住みよい社会をつくらう―

●部落差別をなくそう  
●婦人の地位を高めよう  
を重点目標に人権思想の普及徹底にとつております。

これは「お互いが気軽に言葉で交わし合うこと」によって心の通いが得られ、それによって明るく住みよい社会がつけられることを願ったものであり、また、現在最も重要な人権問題である同和問題は、すべての人がこの問題を正しく理解し、一層認識を深めて自分自身の問題として考え、差別の心をなくすために積極的に努力する必要がある。更に、私達の周囲に残っている男女間の差別的なならわしをあらため、真に男女が平等であるよういま一度みんなで考えてみよう」という趣旨でそれぞれ定められたものであります。皆さんの御理解と御協力をお願いいたします。なお、そのほか人権問題や法律問題その他いろいろを悩みごと相談を社会福祉協議会と合同で十二月十四日、十時〜十五時まで行いますので気軽に相談ください。

水巻短歌大会

水巻短歌会では、十一月二日に「文化の日」の記念行事として、短歌大会を町民会館で開催いたしました。同大会には、水巻短歌会会員など二十人ほどのかたが集まり、与えられた歌題に筆を奮いしました。

作品は、現在の世相を反映しているものが多く、今の水巻町を如実に物語っているようでした。入賞作品は次のとおりです。

水巻町長賞 上坂満寿美(古賀) 明けそめし秋雨しげく降る中を 新聞少年は足早やに去る 教育長賞 近藤友見(短歌会員) 人の世の関(せめ)ぎをよそに 菊つくる 田中秀樹はわが歌の友

水巻短歌会会長賞 縄田スガノ(吉田二) 川戸にて物洗ひしは遠き日か 草生ひ濁る堀川の水 毎日新聞社賞 坂梨サカエ(吉田二)

部落問題をみんなのものにするため

町部落解放秋季講座  
▽日時 12月9日 午後1時から  
▽場所 町民会館ホール  
▽講演 「自分で手に入れるしか

ない」福岡県同和教育研究協議会 事務局長 渡辺ひろやす  
▽主催 水巻町 水巻町教育委員会  
水巻町同和教育研究協議会  
多数のご参加をお願いします。

岡 隆一 猪熊 柴田静實 萩

西日本新聞社賞 江藤敬一(短歌会員) 廃杭の丘のなだりは夕映の色うつろひて人影もなし

住宅金融公庫貸付中  
住宅金融公庫では、次のとおり住宅資金の貸付けを行っています。大型個人住宅建設資金(120㎡〜150㎡までの住宅)

54年1月31日まで  
一般建売住宅購入資金(土地・建物を同時に購入する住宅)  
54年3月31日まで  
個人住宅特別貸付(公共事業の移転者などの住宅)  
54年1月31日まで

54年1月31日まで  
住宅積立郵便貯金預金者貸付(郵便局のあつせんを受けたかたの住宅)  
54年1月31日まで  
住宅改良資金(住宅の増・改築・修繕などの工事)  
54年1月31日まで

54年2月28日まで  
財形住宅資金(財形貯蓄者が行う建設・購入・改良)

54年2月28日まで  
福岡支所住宅相談所(☎092・712・5555)まで

選挙人名簿の閲覧を

―町選挙管理委員会―

選挙人名簿は、水巻町の住民基本台帳に基づき、選挙管理委員会の審議を経て登録決定が行なわれるようになっております。

いかなる場合でもこの名簿に登録されている者でないとい票を投じることはできません。

これらの確認のためにも、名簿に登録したときは、一定の期間を設けてみなさんに縦覧して

いただくようになっておりますが、この期間以外でも、いつでも閲覧ができるようになっております。

(ただし選挙運動期間および選挙の期日後五日以内などは除く) 閲覧のうえ、名簿に誤りがあれば、町選挙管理委員会に申し出を

してください。なお、町選挙管理委員会では、来春の統一地方選挙をひかえ、できるだけ多くの人に

閲覧していただき、名簿の正確性をはかることを目的につきのとおり選挙人名簿の抄本をあつせんします。

この抄本は、住所、氏名のみの記載となっており、あらかじめ申し出をした人に必要部数のみを印刷作成して配布しようとするものですが、選挙人名簿の正確性をはかるという目的以外に使用される

場合には、申し出を受け付けませんのであらかじめご了承ください。 町選挙管理委員会

▽配布期日 12月中旬の予定  
▽配布場所 町選挙管理委員会  
▽申込方法 町選挙管理委員会に申込書がありますので、記名押印のうえ、内金千円を添えて申し込みください。

▽費用 必要部数のみを作成して配布しますので費用は実質の部数按分となります。

申込者以外には配布しませんので、期限までにお忘れなく申し込んでください。また住民のみなさんは転入・転出・転居などの届出は早めにされるようお願いいたします。

### 胃ガン集団検診

▼日時 12月5日 9時～11時  
▼場所 町民会館  
▼料金 国保被保険者 500円  
社保・その他 1300円  
(国保から2千円 町から千2百円それぞれ補助をしています)  
▼申込方法 11月27日から先着百名まで役場衛生係に料金を添えて予診をとりますので本人が申込みください。

### 吉田団地乳児相談

▼日時 12月15日 9時30分～11時30分  
▼場所 吉田団地公民館  
▼対象児 生後二か月～一才二か月の乳児  
▼内容 健康相談 体重・身長計測 家族計画など

### 交通事故相談

▼平日 9時30分～16時30分  
土曜 9時30分～12時  
▼弁護士相談日 毎週金曜 13時～16時  
▼場所 小倉北区明治生命小倉ビル八階 小倉調査事務所  
相談は無料です。遠慮なく

### 旅券(パスポート)発給事務取扱会場の変更

毎週火曜日、北九州市戸畑区戸畑市民会館において、旅券の申請受付及び交付を行っていましたが同会館の改築工事のため、次のように変更いたします。

### 一才六か月幼児相談

日毎に発達する子供達、その発達を暖かく見守りたいものです。一才六か月という時期は大変大切な時、この機会に育児に対する不安や悩みを解決しましょう。  
▼日時 12月4日・18日 13時30分～15時30分

### 十二月の心配ごと相談

▼日時 12月6・14・26日 13時～16時30分(14日は人権相談と合同で10時～15時)  
▼場所 町民会館日本間  
▼主催 町社会福祉協議会

### 気軽借りられます 国の「進学ローン」

▼対象者 高校、高専、大学などに進学なさるかたのご父兄  
▼融資額 最高50万円まで  
▼金利 年7.1%(予定)  
▼取扱開始 54年1月  
くわしくは最寄りの公庫支店、銀行、信用金庫、農協まで

## 12月のし尿汲取予定日

- 1日 頃末、猪熊
- 2日 頃末、唐熊県住、頃末(5・12区)猪熊
- 4日 鯉口、車返し、頃末(12・13区)猪熊
- 5日 鯉口、御輪地、垣添、片山、猪熊
- 6日 古賀、緑風園、中央区、松栄荘団地、頃末(18区)
- 7日 吉田本村(1・2組)、美吉野団地、杣、立屋敷、伊左座、中央区商店街、月夜待、ヌメリ石
- 8日 宮尾、美吉野団地、樋口卯月、吉田本村、二、下二、川端、大橋、県道筋
- 9日 樋口、杣社宅、下二町住、二町住御輪地、高松区、
- 11日 頃末(6・11・14区)、宮ノ下住宅、車返東、頃末(15・25区)、新生街(山ノ口)
- 12日 頃末(6・11・14区)
- 13日 吉田団地、古賀区
- 14日 吉田団地、古賀区、猪熊
- 15日 吉田団地、古賀区、樋口
- 16日 下二、吉田本村、鯉口区
- 18日 伊左座、二、猪熊町住
- 19日 古賀県住
- 20日 樋口商店街
- 21日 みずほ団地
- 22日 みずほ団地、幼稚園通り、梅ノ木区
- 23日 幼稚園通り、梅ノ木区
- 25日 梅ノ木区
- 26日 猪熊
- 27日 猪熊

## — お 礼 —

香典返しとして次のかたから社会福祉協議会にご寄贈がありました。ご冥福をお祈りいたしますとともにあつくお礼申し上げます。

- 猪熊 故宮川タカ殿 宮川喜代子殿
- 吉田宮尾 故守口チトセ殿 守口基隆殿
- 吉田団地 故高佐一殿 高佐ツヤ子殿

## 第14回遠賀郡ロードレース大会

- ▷期日 12月10日 10時スタート
- ▷場所 岡垣町中央公民館前集合
- ▷種目 中学生の部 5km 高校生の部 10km 一般の部 10km
- ▷参加料 中学生…100円 高校生・一般…300円
- ▷主催 遠賀郡体育協会
- ▷申込 12月8日まで町教育委員会まで  
参加賞、その他賞品を用意しています。多数の参加を。